



和歌山大学岸和田サテライト地域連携事業報告 (2011 年度)



和歌山大学岸和田サテライト地域連携事業報告（2011年度）目次

はじめに

I	事業4部門	
	1. 高等教育部門	01
	2. 地域研究・生涯学習部門	09
	3. 地域連携・産官学連携部門	15
	4. 高校連携部門	19
II	特別事業 岸和田サテライト5周年記念フォーラム	20
III	「岸和田サテライト友の会」活動支援	22
IV	サテライトオフィス運営	24
V	地域連携コーディネーター活動記録	27

資料編

◇2011年度名簿

和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会

和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会

和歌山大学岸和田サテライト連携協議会

岸和田サテライト教職員

◇「岸和田サテライト通信」vol.2ーvol.5

◇「わだいな浪切サロン」第31回ー第40回

はじめに

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、2006年4月、岸和田市立浪切ホールに岸和田サテライトを開設しました。和歌山大学の学部教養科目および大学院科目を開講し、地域のみなさんに高等教育の機会を提供しているほか、地域の課題やニーズに対応した各種の地域連携事業・生涯学習事業等を実施しています。

岸和田サテライトの基本事業は以下のとおりです。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施（高等教育部門）
2. 地域研究の推進及び地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供（地域研究・生涯学習部門）
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施（地域連携・産官学連携部門）
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信（高校連携部門）

これらは、岸和田サテライトが主体となって実施する事業活動と、本学の各担当部門が岸和田サテライトおよび南大阪地域で事業を実施する際の調整・協力等の諸活動からなっています。

本事業報告においては、前者の活動に重点をおきつつ、岸和田・南大阪地域における本学の教育研究および地域連携の活動概要を紹介しています。

2012年5月

和歌山大学岸和田サテライト長

大西 敏夫（経済学部教授）

国立大学法人 和歌山大学 岸和田サテライト

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

TEL&FAX 072-433-0875

E-mail : kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp

<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>

2012年（平成24年）5月発行

I 事業4部門

1. 高等教育部門 ー専門性と地域性を兼ね備えた大人の学びー

岸和田サテライトでは、和歌山大学が有する高等教育機能を活用して、地域発展や社会人のスキルアップのニーズに即した学部科目、大学院科目を開講している。授業は平日夜間と土曜日を中心に実施、20代から70代の受講生がそれぞれの学習目的に応じて学んでいる。2006年の岸和田サテライト開設以来、受講者数はのべ766名に達した。

(1) 学部開放授業（教養科目）

■前期

「観光入門ー観光産業がリーディング産業となる日ー」

担当 青木義英（非常勤講師）

受講者 14名

■後期

「みんなの科学入門

ー身近な現象を科学的に理解するために」

担当 伊東千尋（システム工学部教授）

奥野恒久（システム工学部准教授）

受講者 7名

開講科目が地域の社会人の学習ニーズにマッチしたことと広報活動の強化により、年間講者数は前年度比で15名増加した。



(2) 大学院経済学研究科授業

■前期

「租税争訟法ー租税に関する訴訟及び不服申立てについてー」

担当 畦地文晴（教授） 受講者 15名

「会社法特論ー近年の事例を中心にー」 担当 清弘正子（准教授） 受講者 14名

「地域産業史ー泉州繊維産業の歴史ー」 担当 長廣利崇（准教授） 受講者 21名

「現代日本中小企業論ー大阪のものづくりとアジアとの競争ー」

担当 田中幹大（非常勤講師） 受講者 20名





■後期

「法人課税論－法人税法の基礎と理論－」

担当 森江由美子（非常勤講師） 受講者 19名

「会計学原理－貸借対照表項目を中心として－」

担当 山田恵一（准教授） 受講者 12名

「地方都市の交通とまちづくり－国内外の事例に学ぶ－」

担当 辻本勝久（教授） 受講者 23名

「現代企業経営論－ステークホルダー・インヴォルブメントのイノベーション創発の可能性－」

担当 高岡伸行（准教授） 受講者 21名



大学院経済学研究科は、前期・後期各4科目（「資格実務型」2科目・「地域実践型」2科目）を開講、科目等履修生の受講件数は前年とほぼ同様。ものづくりの現場の中小企業訪問や学会聴講などのフィールドワークも実施した。授業には、大学院経済学研究科の大学院生（栄谷及び岸和田サテライト）の履修も受け入れている。

(3) 大学院経済学研究科修士課程租税法研究指導

2011年度末、税理士を目指す10名の院生が岸和田サテライトを中心とした授業と研究指導を経て、修士課程を修了した。

- 専門研究Ⅰ 担当 畦地文晴（教授）
袴田裕二（教授）
- 専門研究Ⅱ 担当 袴田裕二（教授）
田中章介（客員教授）

■ 修士論文中間報告会

実施日 2013年10月1日（土）
場 所 浪切ホール研修室1

■ 修士論文報告会

実施日 2012年2月11日（祝）
場 所 浪切ホール研修室2



(4) 学習環境の整備

授業や研究指導に必要な図書追加、自習室内のインターネットデータベースのオプション追加等、受講生の学習環境の整備と充実を図った。



高等教育部門（1）～（3）受講者数の年度別推移

2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
70名	84名	92名	139名	215名	166名

2006年度 大学院経済学研究科・教育学研究科授業開始

2008年度 学部開放授業開始

2009年度 大学院経済学研究科租税法研究指導開始

2011年度 大学院経済学研究科授業の栄谷院生の一部履修制限実施、大学院教育学研究科授業休止

2011 年度開講科目に関する感想・意見（受講者アンケートより抜粋）

各授業について

■「観光入門」（学部開放授業・前期）

- ・今回初めて観光の授業を受けて、観光産業の現状や多くの産業が関連していることが具体的に分かった。
- ・DVD（映像）を使用した授業だったので、分かりやすいだけでなく楽しく授業を受けられた。そして、観光に対する関心がさらに深まった。機会があればまた青木先生の授業を受けたい。（学部開放授業受講者）
- ・今回も大変有意義な授業でした。先生のお話も目的がしっかりしており、DVDなども入れながら具体的な内容が良かったです。また、今回受講者 12 名で、多くもなく少なくもなく、いろいろな方の意見も聞け、これぐらいがよいと思います。また授業のあとの交流会も授業の内容を深めるのに役に立てました。学部学生も参加され、これがお互いに啓発でき、サテライトや大学における教育の理想かと思いました。（学部開放授業受講者）

■「みんなの科学入門」（学部開放授業・後期）

- ・理系の難しい話を分かりやすく説明してくださり、大変役に立ちました。（学部開放授業受講者）
- ・各授業の説明が平易でたいへん入門科目としては良かった。できれば、量子論への導入に向けて展開があればさらに良かった。（学部開放授業受講者）

■「租税争訟法」（大学院科目・前期）

- ・難易度が高く、内容は非常に濃いものだった。入学するまでに経験することのなかった判例研究は自分の幅を広げてくれたと感謝している。（大学院生）
- ・もっと討論をしていく授業の方が良かったかもしれない。また授業の内容が少し難しかった。（大学院生）

■「会社法特論」（大学院科目・前期）

- ・受講にあたっての自らの準備が十分でなく、先生にはご迷惑をかけたと思っている。約 26 年間、会社員として働いているが、会社そのものについて考えたことがほとんどなく、本授業を受けることで興味を深く持つようになった。会社法については、今後も勉強していきたいと考えている。（科目等履修生）
- ・授業の進め方、スピード、雰囲気など全体的にたいへん良かった。会社法全体の体系を知るには非常に有益な授業であった。（大学院生）

■「地域産業史」(大学院科目・前期)

- ・専門としての講義であるとの前提では、踏み込んだ論理展開なり意見の開示を期待していました。(科目等履修生)
- ・課題資料の配布が比較的豊富で、熱心さが伝わった。(科目等履修生)

■「現代日本中小企業論」(大学院科目・前期)

- ・実習と輪読のバランス及び先生の熱心さが良かった。田中先生には別の機会でも講義していただきたい。(科目等履修生)
- ・フィールドワーク授業については受講者全員が参加すべき。全員が参加できるフィールドワーク授業の対象の選定を考えていただきたい。しかし、全体としては大学院らしくレベルの高い授業だった。このような授業であれば再度受講したい。(科目等履修生)
- ・たいへん熱心に惜しみなく講義をされていたので、受講者の側も力が入った。内容も身近なテーマから入り、「考える」スタイルを提供いただいたので、授業評価としては満足。(科目等履修生)

■「法人課税論」(大学院科目・後期)

- ・税法の講義について丁寧に教授いただいた。判例発表についても適切なアドバイスをいただいた。継続して教えていただきたいかった。(大学院生)
- ・授業時以外でも質問に答えてくださったり、修士論文等の授業以外のことについても相談にのってくださるなど、とても人柄のよい先生でした。授業内容は難しかったです。この授業を受講して良かったです。(大学院生)
- ・判例を中心として法人税を分かりやすく学べた。後期だけでなく、税法の講義については通年の授業があると良いと思う。(大学院生)

■「会計学原理」(大学院科目・後期)

- ・簿記1級という明確な目的を示し、教科書の他に板書ノートも配付いただいた。個人的に会計学の素養が不十分で内容は難しかったが、しっかりとした講義をしていただいた。(科目等履修生)
- ・予習、復習が大変だったけど、授業は充実していた。分かりやすかったし、会計学や簿記について、仕事で深く考えず「こうするものなんだ」と淡々とこなしていた点が次々に意味や考え方まで知ることができてよかった。(科目等履修生)
- ・黒板を使い丁寧に指導してくださるのでよく理解できた。板書資料が大変参考になった。講義時間が長く、疲れた。もう少し授業時間を短く、期間を長くしても良かったのではないかと。(大学院生)

■「地方都市の交通とまちづくり」(大学院科目・後期)

- ・学会への参加の機会もいただき、交通問題に関し理解を深めることができた。コンパクトシティ等の方向性に間違いはないと思うが、現実問題としてどのように進めていけるか非常に難しいと感じた。(科目等履修生)
- ・受講生の研究発表が中心で、先生の講義そのものが少なすぎると感じました。限られた時間なので、もっと先生の講義を聞きたかった。(科目等履修生)
- ・現在の社会の問題点「交通政策」について立場を超えて討論できた。全人類、全社会の健康で文化的な生活を送れることの可能性を追求していく立場から、公共交通の必要性、CO₂を低めるために鉄道、公共バス、電気自動車、自転車の組み合わせなど、国民との合意を得るなかで作り上げたい。(大学院生)

■「現代企業経営論」(大学院科目・後期)

- ・会社で中間管理職にある立場の者としては、自分の組織をどうしていくかという観点から非常に勉強になった。(科目等履修生)
- ・グループワークのプリント等に先生の解説や気づいたことを書き込んでいたが、プリントを最終授業で回収されたので、後で見直したりできなかった。(科目等履修生)
- ・レポートの課題が少しわかりにくかった。先生は一生懸命に授業をされていた。一日かけるのは、少し忍耐が必要。(大学院生)



2011 年度開講科目に関する感想・意見（受講者アンケートより抜粋）

その他の意見・感想

■授業科目編成について

- ・当初は受講してみたい科目も多かったが、最近の科目は院生中心の選択科目が多く、興味を持って受講したい科目がなくなっている。マンネリ化？ 仕事上、時間的制約もあり、（自営業のため終りが無いので）退職後の大学院というわけにもいかず、大学院への意欲が喪失している。また、加齢とともに学びたい対象が変わってきたように思う。（科目等履修生）
- ・租税法の開講科目が平日夜間に集中するのは解決できないものでしょうか。（科目等履修生）
- ・もう少しバランスのよい科目設定をお願いします。（科目等履修生）
- ・大学院の開講科目をもっと増やしてほしいです。とくに平日に開講する科目を増やしてほしいです。（大学院生）
- ・通年の授業開設により、深く学ぶ機会を設けるのがよい。様々な人が利用できるように、日曜日に授業を行うことで、選択肢を広げるとよい。（大学院生）
- ・税法に関する科目が少なすぎる点が不満。その他は満足。（大学院生）
- ・（経済学研究科について）開講科目につき、随分検討されておられるのを感じる。より一層ニーズに合った社会貢献できる科目設定、運営等、工夫・改善を申し上げることができませんが、期待は大。
- ・（学部開放授業について）大変だと思いますが、科目が多い方が受講者も増えると思う。
- ・学部開放授業について、多様な教養科目を開講していくということですが、社会（科）学系の講座も増やしてほしいという希望があります。社会的課題の解決のヒントになるようなテーマもタイムリーでよいと思います。（科目等履修生）

■授業方法等について

- ・学んだことを、報告・提案できるような授業を取り組んでも面白いのではないかな。例えば、交通論においては、岸和田の交通、ローズバスなどについて意見が数多く発表されていました。そうした意見をまとめて発表していくというのはどうでしょうか。そのためには、授業の内容から検討する必要がある、前期は講義、夏休み期間中にフィールドワーク、後期に提案書作成など、1年間をかけての授業が必要となります。（大学院生）
- ・システム工学部関連の科目は、科学入門、基本や導入として設定することで、多くの市民へのサテライトへの導入科目として有効ではないでしょうか。（学部開放授業受講者）
- ・体を動かす、声を出すなど、話を聞くだけでなく、五感に訴えるテーマも面白いのでは。市民の興味のあるテーマについてはシリーズ化し、当初から告知することも大事ではないか。（大学院生）

■設備、広報、スタッフ等について

- ・大学院の授業は発表型がメインなので、図書資料の充実が希望です。(科目等履修生)
- ・大変満足しています。学習用の自習室が充実すればさらにうれしいです。(大学院生)
- ・自習室のPCをもっと充実させてください。(大学院生)
- ・事務スタッフの対応がいつも親切でとても助かっています。ありがとうございます。(大学院生)
- ・個別に親身に対応していただけるので(他大学のサテライトと異なり)、どうしても岸和田サテライトじゃないとダメだと思ってしまう。愛着ができてしまうのが、通いやすい他大学のサテライトに行かない(行けない)状態になっています。いつもありがとうございます。(科目等履修生)
- ・アンケートの意見を実行に移して欲しい。聞き取りだけで終わらないようにしてほしい。(大学院生)
- ・学部開放授業を気楽に受講している。浪切サロンも大変ありがたい。両方とも、ずっと続けていただきたいが、改善があれば提案ください。協力します。(学部開放授業受講者)
- ・「はつらつと生きるために学ぶことは大切」など、キャッチフレーズにも工夫を。テレビ岸和田へのアプローチも検討してはいかが。浪切サロンを放映してもらおうこととか。(学部開放授業受講者)

2. 地域研究・生涯学習部門 ー住民自治のまちづくりと人材育成のためにー

2-1 地域研究への支援

(1) 「岸和田市における都市居住空間のあり方に関する研究

ー英・独 2 都市との国際比較を通じてー

担当 堀田祐三子（観光学部准教授） 山田良治（観光学部教授）

本学「地域貢献機能の充実を図るためのプロジェクト事業」（2010-2011年度）として採択された研究。

人口減少の時代、都市空間をどのように形づくっていくかということは地方都市が活力を維持していくための大切な課題であるという認識の下、住宅の供給管理の重要性、地域住民のまちづくりに対する理解や働きかけ、都市形成にかかわる諸活動などに注目し、諸外国（イギリスのヨークおよびドイツのフライブルグ）の経験にも学びつつ、岸和田市の都市空間形成の課題を明らかにした。

岸和田市（政策企画課、都市計画課）、町会連合会をはじめとする地域団体・住民の方々の協力を得て、住宅供給の現状を把握するための目視による空き家の実態調査、既成市街地の住宅および居住に対する住民意識を把握するための聞き取りやアンケートによる調査を実施した。

調査研究の成果は、2011年12月3日の岸和田サテライト5周年記念フォーラムおよび2012年3月17日の成果報告会（岸和田市春木市民センター）において発表された。成果報告会には、住民、岸和田市関係者、大学院生等44名の参加があった。当日の会場で提出された質問に対する堀田教授の回答や参加者の感想等を岸和田サテライトのホームページで公開している。



(2) 「農業・農村『複合化』プロジェクト」

担当 藤田武弘（観光学部教授） 大浦由美（観光学部准教授）

本学「和歌山大学型グリーンイノベーション創造プログラム事業」として実施。「JAいずみの」との協力によって、岸和田市内の農産物直売所「愛彩ランド」の利用者調査を実施。調査結果は、JAいずみの本店や岸和田サテライト5周年記念フォーラムにおいて報告された。引き続き、農産物直売所における多角的事業展開が生産者や消費者に及ぼす影響、食育推進や都市農村交流への寄与などについて研究を進める。



(3) 「特別支援教育分野における大学の地域支援に関する実証的研究」

担当 小野次朗（教育学部教授） システム情報学センター

本学「地域を支え、地域に支えられる大学づくり研究プロジェクト」採択事業。2年間の事業計画の1年目。浪切ホール研修室を会場に、テレビ会議システムを利用した「特別支援教育コーディネーターフォーラム」を4回実施した。近隣の大阪府立支援学校、教育委員会、社会福祉協議会等に開催を案内、岸和田市立小中学校教員を含むのべ44名の参加があり、5つの会場を結んで講義、事例研究、意見交換がおこなわれた。



2-2 わだい浪切サロン（交流型公開講座）

毎月第3水曜日の夜（2月と8月を除く）、年間10回の“mini和歌山大学”を開催。開始から4年間を経て、「わだい浪切サロン」は、地域への本学の教育・研究活動のPRの場としての役割を十分に果たすとともに、住民の多様な関心に応える学習・交流の機会として定着した。毎回終了後の講師を囲んだ懇親会も好評である。



回	月日	内容	担当（所属）	参加数
31	4.20	笑いとお美術 ー西洋伝統絵画のもうひとつの側面ー	高橋健一（教育学部准教授）	37
32	5.18	信長・秀吉VS紀州惣国一揆 ー仮面の忍者赤影から戦国ヤタガラス雑賀衆へー	海津一朗（教育学部教授）	69
33	6.15	いま なぜ「協働」か ー市民と自治体の新たな関係を考えるー	山田良治（観光学部教授）	51
34	7.20	ITを活用したまちづくりと地域ブランドのデザイン ー地域活性化の鍵は情報デザインにありー	川角典弘 （システム工学部講師）	37
35	9.21	身近な統計のはなし ー不確実な現象の扱い方ー	松田忠之（経済学部教授）	24
36	10.19	家庭・地域だからこそできる大学生への就職支援 ー学生の自立・自律力育成を目指してー	本庄麻美子 （経済学部キャリアデザインオフィス助教）	25
37	11.16	笑いとお教育 ーユーモアの効用ー	松浦善満（教育学部教授）	40
38	12.21	岸和田で見る星空から ー大宇宙を感じてみようー	富田晃彦（教育学部教授）	40
39	1.18	発達障害って？特別支援教育って？ ー今注目されていることばを、“いち”から解説しますー	小野次朗（教育学部教授）	99
40	3.21	TPP（環太平洋経済連携協定）問題を考える ー食と農の視点からー	大西敏夫（経済学部教授・岸和田サテライト長）	55

年間参加者合計 477名

「わだい浪切サロン」参加者アンケートより

■第31回「笑いとお美術

—西洋伝統絵画のもうひとつの側面—

- ・珍しい粋なテーマでとても楽しく拝聴した。(70代・男)
- ・一部理解していたものが、だいぶ理解できた。教会内の絵がパワーポイントみたいに人にキリスト教を教える、なかなか面白いものだったことを思い出した。(70代・男)



■第32回「信長・秀吉VS紀州惣国一揆

—仮面の忍者赤影から戦国ヤタガラス雑賀衆へ—

- ・太田城、水攻めの事が詳しくわかり、良い勉強になり、近日中に太田城へ行って色々調べてこようと思っています。(40代・男)
- ・忍者のお話があるのかと興味本位で来ましたが、真面目なお話で意外でした。(50代・女)
- ・大変面白く聞きました。続きがあればと思います。(60代・男)

■第33回「いなぜ『協働』か

—市民と自治体の新たな関係を考える—

- ・日々の生活では、あまり考えない視点で、まちづくり自治体との関係性をあらためて着眼できるきっかけになりました。(40代・男)
- ・初めてよせていただきました。「協働」というと安っぽい政府作りをめざすような感じでしたが、歴史的なようすなどがわかってよかったと思います。(40代・男)



■第34回「ITを活用したまちづくりと地域ブランドのデザイン

—地域活性化の鍵は情報デザインにあり—

- ・難しい内容かと思っていたのですが、とてもわかりやすく興味深く聞かせて頂きました。和歌山大学の学生さんの研究のレベルの高さに感心しました。(40代・女)
- ・様々な空間デザインに興味深く見せて頂きました。是非岸和田にも取り組んで頂きたいと思いました。

■第35回「身近な統計のはなし —不確実な現象の扱い方—

- ・研究レポートを書くのに統計の知識が全くないので今回参加しました。わかりやすく説明してくださっているのですが、理解できていない部分がありますので資料をもう一度読み直してみたいと思います。ありがとうございました。(50代・女)

■第 36 回「家庭・地域だからこそできる大学生への就職支援

—学生の自立・自律力育成を目指して—

- ・大変大きな声でされて、こちらに向けて響いてくる講義でありました。こうでないと就職できないというのを表しているようにも思いましたが、また最初の話で「そんなに難しい状況ではない」という言葉を出され、その理由を探るために聞いてみたくなる気を喚起させる講義でもありました。このテーマは就活に臨む子を持つ親や本人以外の方が聞くテーマでもあり、“近頃の若者は”という言葉を出してしまう人々にもして頂きたいテーマです。幅広い層に設定して頂きたいです。(40代・男)

■第 37 回「笑いと教育 —ユーモアの効用—

- ・気楽に聞ける講演と思っていました。ところが予想に反して笑いのネタづくりという事。講演が展開するに従って緊張が増しまさにお手あげでした。(70代・女)
- ・つい笑ってしまう楽しい講演でした。笑いは、心と体を若返らせる妙薬です。また、いろんな勉強をしたいです。(60代・男)

■第 38 回「岸和田で見る星空から

—大宇宙を感じてみよう—

- ・宇宙、星、ロケットの話まで壮大な話をいただき、非常におもしろかったです。星を見てます。天文学っておもしろい！先生の解説よかったです。(40代・男)
- ・非常におもしろく楽しい時間でした。天気がよかったら実際に外で講義をしてもらいたかったです。(40代・男)



■第 39 回「発達障害って？特別支援教育って？

—いま注目されていることばを“いち”から解説します—

- ・普通だとなかなか内容がわからない発達障害について知って理解するための機会となりました。本日はありがとうございました。(40代・男)
- ・子どもに自信をもたせるようにとあらためて考えました。親以外に認めてもらえる人を見つけることは大切ですが難しいです。(40代・女)



■第 40 回「TPP（環太平洋経済連携協定）問題を考える —食と農の視点から—

- ・初めて参加させていただきました。マスコミ等で知ることができない TPP の実状、とくに農業分野における実体がわかり、TPP のとらえ方が変わりました。(50代・男)
- ・TPP の問題を詳しくわかりやすく説明いただきありがとうございました。漠然とはわかっていましたが、具体的なお話で納得しました。食の安全を守っていきたいです。(50代・女)

2-3 地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー

(地域連携・生涯学習センター主催)

「新しい公共と地域の未来 ～自治体・地域・大学のつながり力で新たな社会の創造を～」

日 時 2012年2月18日(土) 13:00～16:30
場 所 岸和田市立浪切ホール特別会議室
共 催 岸和田市・岸和田市教育委員会
後 援 岸和田サテライト友の会
基調講演 千葉悦子氏(福島大学行政政策学類教授)
パネリスト 出上実氏(岸和田市青少年指導員協議会広報部長・日本写真家協会会員)
古田義久氏(和歌山大学地域連携・生涯学習センター客員教授・財団法人都市ユースサービス協会「子ども・若者支援室」支援コーディネーター)
堀内信宏氏(海南市教育委員会生涯学習課社会教育係長)



和歌山大学地域連携・生涯学習センターは、大学・地域・行政の協働により地域発展のための主体的力量形成に貢献する内容と実施のあり方を探求する「地域学習発展プログラムの開発と実施に関するセミナー」(岸和田会場)を開催、約80名が参加した。

福島大学教授 千葉悦子氏による基調講演「までのカー福島県飯舘村の学習・実践に学ぶ」に引き続き、パネルディスカッション「自治の担い手をどう育てるか」(コーディネーター:和歌山大学地域連携・生涯学習センター准教授・村田和子)では、自治の担い手養成の実践事例をふまえての提起や積極的な討議を行った。

まとめとして、和歌山大学長・山本健慈による総括講演「大学は、地域に何が出来るのか」-中央教育審議会の議論も踏まえて」が行なわれた。

3. 地域連携・産官学連携部門 ー大学と地域をむすぶ新たなとりくみー

(1) 第2回 和歌山大学ラボツアー from 岸和田ー地域防災力向上に向けて何をすべきか

- 日 時 2011年9月28日(水) 13:30~17:30
- 内 容 デジタルドームシアターを用いた防災教育コンテンツの見学
防災研究教育センターの活動紹介と東日本大震災支援活動報告
(此松昌彦 防災研究教育センター長)
- 地域防災力向上のための課題検討
防災教育・管理者教育プログラムづくり
(今西武 防災研究教育センター客員教授)
- 地域防災福祉力の向上 ~岸和田市まちづくり創造研究会の成果と提言~
(此松昌彦 防災研究教育センター長)
- 住民・企業の防災意識啓発のとりくみ
(岸和田市役所危機管理室 寺田喜明氏)
(大阪鉄工団地協同組合事務局長 岡本富和氏)

今年度は第2回目として、地域防災力の向上をテーマに実施。岸和田市役所、大阪鉄工金属団地事務局、岸和田市社会福祉協議会から15名が本学を訪問。観光学部棟デジタルドームシアターで360°に展開される東日本大震災の被災状況の映像を見学後、本学防災研究教育センターの教員と参加者により、地域防災の諸課題についての活動報告と質疑応答が行われた。



(2) 地域防災事業に関する協力と支援

下記の岸和田市内での事業について、岸和田サテライトは本学防災研究教育センターとのコーディネートおよび現場支援をおこなった。

■大阪府「第2回防災・安全フィールドワークキャラバン in 泉南」出展 (10/15)



岸和田市立浪切ホールにて実施。本学防災研究教育センターの出展では、未利用木質資源（間伐材や端材など）を有効利用した丸太コンロの紹介と非常食の配布をおこなった。

■大阪府市町村職員年金者連盟講演会 (12/6 浪切ホール)

担当 照本清峰 (防災研究教育センター特任准教授)

■阪南2区連絡協議会防災セミナー・ワークショップ (12/6 阪南2区)

担当 照本清峰 (防災研究教育センター特任准教授)



■大阪鉄工金属団地協同組合緊急地震速報受信時避難訓練マニュアル制定検討会

(2/6 大阪鉄工金属団地)

担当 照本清峰 (防災研究教育センター特任准教授)

地域の工業団地協同組合の依頼により、防災研究教育センター教員がアドバイザーとして検討会に出席した。その後、4/5には協同組合主催による避難訓練が実施された。

(3) 産学官交流プラザきしわだ「ものづくり企業間交流会」

担当 河崎昌之（産学連携・研究支援センター准教授）
地域創造支援機構事務部

産学連携・研究支援センターの河崎専任教員、地域創造支援機構の小門職員、稲垣職員が参加。第1部「自社PR」では、小門職員より、特許等知的財産の観点からの研究成果や、その実用化等への取り組みの紹介をおこなった。（10/19 岸和田商工会議所）



(4) NHK連続ドラマ「カーネーション」経済波及効果調査指導

担当 大井達雄（観光学部准教授）

大井准教授の指導により、11月から岸和田市産業振興部産業政策課・岸和田市観光振興協会が「だんじり会館」や岸和田駅前通商店街等で「観光来訪者アンケート」調査を実施。大井准教授と学生はNHKギャラリー等での聞き取り調査を実施。

(5) 岸和田サテライト5周年記念フォーラムでの観光・「岸和田ブランド」紹介

担当 岸和田市役所観光課・産業政策課 岸和田商工会議所

上記フォーラムにおいて、NHK連続ドラマ「カーネーション」および「岸和田ブランド」のPRパネルとサンプル品を展示。フォーラム来場者および浪切ホール来館者に紹介した。（12/3 浪切ホール）



(6) 岸和田をフィールドとした学生教育の支援

■教育学部「社会教育演習」

担当 出口寿久（地域連携・生涯学習センター長）

岸和田市生涯学習課（市立公民館）を訪問し、岸和田市の公民館事業概要についての説明を受けた。（6/29）

■経済学部「地域調査研究」

担当 足立基浩（経済学部教授）

岸和田駅前通商店街でのフィールドワークを実施。調査にあたって、商店街の坂口龍矢氏・岸和田市観光情報ホームページ「岸ぶら」編集長の渡邊隆氏の事前レクチャーを設定（8/24）。それらをもとに、学生が駅周辺のマップ制作に取り組んだ。



■経済学部「E C コース基礎演習 I」

担当 大西敏夫（経済学部教授）

岸和田市駅前商店街の見学に続き、岸和田市政策企画課担当者より、市総合計画・自治基本条例等の住民参画型施策についての説明を受けた。

（9/22）



(7) 和歌山大学教員免許状更新講習

担当 教務課

必修・選択科目あわせて 13 講座を 18 名の講師が担当。505 名の地域の学校教員が岸和田会場で受講した。（8/4～8/11 岸和田市立産業高校）

4. 高校連携部門

(1) 岸和田市立産業高校からの授業見学・懇談会

担当 大西敏夫（経済学部教授）

辻本勝久（経済学部教授）

市立業高校の生徒 6 名と教諭 3 名が和歌山大学経済学部を訪れ、入試説明に続いて経済学部の授業とゼミを見学。その後、学部教員・産業高校出身の学生 5 名との懇談をおこなった。(7/11 和歌山大学)



(2) 和歌山大学説明会

担当 入試課

岸和田市立浪切ホールにて大学説明会を開催。岸和田サテライトを通じて事前広報に協力。地域の高校生、保護者など多数の参加があった。(6/19)



Ⅱ 特別事業

岸和田サテライト 5周年記念フォーラム

「わだいな発！地域創造と大学サテライト」

日 時 2011年12月3日（土）13：30～16：30

場 所 岸和田市立浪切ホール特別会議室

参加者 116名

和歌山大学岸和田サテライト開設5周年を記念して、フォーラム「わだいな発！地域創造と大学サテライト」を開催、地域住民やサテライト受講生、大学関係者、地域連携のパートナーである大阪府岸和田市の関係者が多数参加した。



（第1部）

山本健慈学長、出口修司副市長の開会挨拶に続き、第1部「岸和田サテライト5年のあゆみとこれから」の前半では、4名の社会人受講生が「サテライトでの学びと私」と題して、インタビュー形式による発表をおこなった。

続く「岸和田を中心にした和歌山大学の地域研究活動報告」では、本学教員と地域の方からなる4組が取り組んできた「岸和田市における都市居住空間の研究」、「防災まちづくり研究(岸和田市まちづくり創造研究会)」、「農産物直売所来店者調査」、「観光商店街の提案」について、各組から概要報告をおこなった。

この後、堀内秀雄理事・副学長より、講評に加えて、「岸和田の今後の持続発展のためには、市、関係機関、住民など地域全体からのサテライトへの支援と、和歌山大学や岸和田サテライトでしかできないことを精選した連携事業の展開が必要」との総括コメントがあった。



(第2部)

後半の第2部は、毎月恒例の「わだい浪切サロン」のスペシャル版として、「歴史に学ぶ民のちから」をテーマに、和歌山県有田郡広川町語り部サークル代表の崎山光一氏による語り「志は遠大に、心は小翼に 一稻むらの火 ごりょうさんの心」、海津一郎和歌山大学教育学部教授による講演『『民衆』の発見 一紀州が生んだ反骨の歴史家 西岡虎之助』がおこなわれた。



このほか、午前中には連続ドラマ「カーネーション」の舞台をたどるまちあるき、会場ではドラマと「岸和田ブランド」(物産)のパネル展示を実施した。

フォーラム終了後の交流会では、サテライト友の会役員の進行のもと、地域の方、教職員や学生、関係者等63名がテーブルを囲み和やかな懇親のひとときを過ごした。

今回の5周年記念事業の一環として、冊子『地域創造と大学サテライト』1000部を発行した。誌面は授業受講者や「わだい浪切サロン」参加者、関係各方面からの寄稿および資料編等で構成されている。



Ⅲ 「岸和田サテライト友の会」活動支援

(1) 2011 年度総会および夏季講演会

日 時 2011 年 7 月 2 日 (土) 14:00~17:00

場 所 岸和田市立浪切ホール

内 容 ■総会 (会計報告、役員改選)

■夏季講演会

修士論文発表会「南紀田辺の環境を活かした地域振興について」

和歌山大学経済学研究科修了生 和歌山県税事務所所長 谷脇 幹雄 氏

講演「地域から学ぶ ―住民参加型の図書館づくり―」

和歌山大学附属図書館副館長 渡部 幹雄

■大学院経済学研究科 (租税法研究) 学生募集および岸和田サテライト後期授業の説明

定例の講演会は地域活性化や人的ネットワークの拡大を考慮に入れて企画され、一般の方を含む 33 名の参加があり、会として地域活動を広げていくきっかけになった。役員改選を機に、新旧役員の挨拶や講演会の内容等を情報発信する会報を発行した。



(2) 岸和田サテライト5周年記念フォーラムへの参画



同フォーラム実行委員会に友の会を代表して金野精一郎会長が参画された。フォーラム当日の「サテライトでの学びと私」には、金野会長のほか会員の山口邦雄氏、小橋川茂子氏、吉田謙司氏に登壇いただいた。また、会員の方々には、交流会の進行、記念誌へのメッセージ寄稿、フォーラム当日の参加および広報などの協力をいただいた。

(3) 懇談会の開催

日 時 2012年2月18日(土) 17:00~18:30

場 所 岸和田市立浪切ホール

2011年度冬季講演会は5周年記念フォーラムへの参加に振り替えたため、別途、懇談会を開催した。会員の自己紹介・近況報告のほか、地域連携コーディネーターによるサテライト開講科目や今後の事業に関する要望の聞き取りや、会員間の意見交換を行った。終了後は懇親会での親睦を深めた。

IV サテライトオフィス運営



2011年度は、地域連携コーディネーター2名の常勤配置が2年目を迎え、新たに事務補佐員が配置されたことにより、和歌山大学の岸和田・南大阪地域における学外窓口としての機能は格段に向上した。

サテライト事業や授業の受講についての問い合わせ、本学入試情報の問い合わせも増加し、地域における大学の情報発信拠点としての存在感が高まった。

(1) 広報活動

前年度に引き続き、岸和田市『広報きしわだ』、岸和田市商工会議所『きしわだ所報』、地域のミニコミ誌での事業案内をおこなった。また、市域外への各種広報物の配布を拡大したことにより、堺・泉北から和歌山までの住民の受講が増加した。

岸和田サテライトホームページでの各種事業の開催案内や事業実施後の記録公開など、速やかな情報発信に努めた。

サテライトの多方面にわたる事業を定期的に紹介するために、「岸和田サテライト通信」(季刊)の発行を始めた。



(2) 会議の記録

- 2011年度 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会
山本健慈和歌山大学長、野口聖岸和田市長をはじめとする会員の出席により、人事異動による規約改正、2010年度事業報告、2011年度事業計画案の承認、地域連携事業についての意見交換がおこなわれた。
(6/15 岸和田市役所)



- 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会
企画運営委員会
第1回 4/27 (岸和田市役所)
第2回 8/22 (和歌山大学 終了後、観光学部棟見学)
第3回 11/16 (岸和田市役所)
第4回 2/3 (岸和田市役所)
第5回 3/22 (岸和田市役所)



- 2011年度和歌山大学岸和田サテライト連携協議会
岸和田市の活性化および教養文化の向上のため、和歌山大学岸和田サテライトの活用促進を目的に、市内産業団体、教育委員会、岸和田市、和歌山大学の委員により組織されている。
平成22年度事業報告および平成23年度事業計画の説明、意見交換等がおこなわれた。
(6/28 岸和田市役所)

- オフィス・調整会議
岸和田サテライト長、岸和田副サテライト長、サテライトスタッフ、岸和田市役所政策企画課担当者による月例および臨時の実務調整会議を年間20回実施した。
(岸和田サテライト)

- 岸和田サテライト5周年記念フォーラム実行委員会
7/15、8/17、9/6、11/9、11/25の5回にわたり実施した。(岸和田サテライト)

- サテライト連絡会議
本学での南紀熊野サテライト、まちかどサテライト、地域創造支援マネージャーとの合同会議に地域連携コーディネーターが参加。各サテライトの現状報告、情報および意見交換を定期的におこなった。(4/26 5/17 7/12 8/9 9/13 12/14 3/13 和歌山大学)

(3) 地域からの問い合わせ

2011年6月～2012年3月には、107件の問い合わせが電話、電子メール、訪問等によりサテライトオフィスに寄せられた。

- ・サテライト開講授業（募集要項、開講内容等）について 43件
- ・サテライト、地域連携・生涯学習センターの事業（わだいな浪切サロン、地域発展学習セミナー等）について、業務時間について 17件
- ・本学の入試（大学案内、一般・推薦・社会人入試）について 32件
- ・その他（教員との面談希望、NPOからの活動紹介、総務省事業者調査、本学の教育内容および就職状況について他）15件

(4) 図書資料整備状況

サテライト開講授業のテキスト・参考図書、大学院経済学研究科租税法研究指導用の専門図書、地域と大学の連携に関する図書等を中心に選書し、蔵書内容の充実に努めた。蔵書数は425冊（2012年3月現在）、年間貸出数は93冊（前年度比41冊増）。

(5) 自習室利用状況

大学院生、科目等履修生を中心に、2011年5月～2012年3月に322件の利用があった。大学院生の自主ゼミのスペースとしても有効に活用された。



V 地域連携コーディネーター活動記録

(場所の記載のないものは岸和田サテライト)

■2011年4月

- 13日 臨時オフィス・調整会議
- 20日 オフィス・調整会議
- 20日 第31回わだい浪切サロン(浪切ホール)
- 26日 サテライト連絡会議(和歌山大学)
- 27日 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会第1回企画運営委員会(岸和田市役所)

■5月

- 6日 オフィス・調整会議
- 16日 教育改革推進プロジェクト選考ヒアリング(和歌山大学)
- 17日 サテライト連絡会議 地域創造支援機構全員会議(和歌山大学)
- 18日 第32回わだい浪切サロン(浪切ホール)
- 21日 全国コットンサミット in 岸和田(浪切ホール)

■6月

- 3日 オフィス・調整会議
- 15日 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会(岸和田市役所)
- 15日 第33回わだい浪切サロン(浪切ホール)
- 18日～19日 デジタルドーム型シアターにおける観光映像調査(飯田市美術博物館)
- 19日 和歌山大学説明会(浪切ホール)
- 25日 前期大学院経済学研究科授業フィールドワーク(大阪市生野区 吉持製作所)
- 28日 和歌山大学岸和田サテライト連携協議会(岸和田市役所)

■7月

- 1日 オフィス・調整会議
- 2日 岸和田サテライト友の会総会・夏季講演会(浪切ホール)
- 2日 平成23年度後期開講科目説明会(浪切ホール)
- 11日 岸和田市立産業高校生の経済学部訪問(和歌山大学)
- 12日 サテライト連絡会議 ラボツアー打合せ(和歌山大学)
- 15日 岸和田サテライト5周年記念フォーラム第1回実行委員会
- 20日 第34回わだい浪切サロン(浪切ホール)
- 23日 柑芦会(経済学部同窓会)大阪支部総会(ホテル阪急インターナショナル)
- 27日 特別支援教育コーディネーターフォーラム(浪切ホール)

■8月

- 5日 観光学部藤田・大浦ゼミ 農産物直売所利用者アンケート調査(愛彩ランド)
- 7日 観光学部藤田・大浦ゼミ 農産物直売所利用者アンケート調査(愛彩ランド)
- 9日 サテライト連絡会議(和歌山大学)
- 17日 オフィス・調整会議
- 17日 岸和田サテライト5周年記念フォーラム第2回実行委員会
- 22日 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会第2回企画運営委員会(和歌山大学)
- 24日 経済学部「地域調査研究」フィールドワーク事前レクチャー(浪切ホール)

■ 9月

- 1日～3日 「地域再生人材サミット in 能登」(輪島市、珠洲市)
- 6日 岸和田サテライト5周年記念フォーラム第3回実行委員会
- 13日 地域連携・生涯学習センター企画運営委員会、サテライト連絡会議(和歌山大学)
- 21日 オフィス・調整会議
- 21日 第35回わだいな浪切サロン(浪切ホール)
- 2日 経済学部ECフィールドワーク(岸和田市内)
- 28日 第2回和歌山大学ラボツアーfrom岸和田(和歌山大学)
- 28日 特別支援教育コーディネーターフォーラム(浪切ホール)

■ 10月

- 3日 岸和田市カーネーション協議会(浪切ホール)
- 13日 大阪府立大学授業公開講座「堺・南大阪地域学I」(大阪府立大学中百舌鳥キャンパス)
- 15日 大阪府防災・安全フィールドワークキャラバン in 泉南(浪切ホール)
- 15日 後期大学院経済学研究科授業フィールドワーク
(日本交通学会70周年記念国際シンポジウム:神戸大学)
- 16日 後期大学院経済学研究科授業フィールドワーク
(日本交通学会70周年記念国際シンポジウム:神戸大学)
- 19日 オフィス・調整会議
- 19日 第36回わだいな浪切サロン(浪切ホール)
- 26日 岸和田サテライト5周年記念フォーラム打合せ(稲むらの火記念館)
- 26日 特別支援教育コーディネーターフォーラム(浪切ホール)

■ 11月

- 4日 観光学部藤田・大浦ゼミ 農産物直売所「愛彩ランド」利用者調査報告(JAいずみの)
- 6日 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会第3回企画運営委員会(岸和田市役所)
- 9日 岸和田サテライト5周年記念フォーラム第4回実行委員会
- 10日 大阪府立大学授業公開講座「堺・南大阪地域学I」(大阪府立大学中百舌鳥キャンパス)
- 13日 岸和田市産業フェア(浪切ホール)
- 16日 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会第3回企画運営委員会(岸和田市役所)
- 16日 第37回わだいな浪切サロン(浪切ホール)
- 18日 ラヂオきしわだ出演(ラヂオきしわだ)
- 19日 京都橘大学現代ビジネス学部主催現代ビジネスフォーラム(キャンパスプラザ京都)
- 23日 和歌山大学・国立大学協会主催大学改革シンポジウム(地域連携・生涯学習センター)
- 25日 岸和田サテライト5周年記念フォーラム第5回実行委員会
- 30日 特別支援教育コーディネーターフォーラム(浪切ホール)

■ 12月

- 3日 岸和田サテライト5周年記念フォーラム(浪切ホール)
- 6日 大阪府市町村職員年金者連盟講演会(浪切ホール)
- 6日 阪南2区連絡協議会防災セミナー・ワークショップ(岸貝クリーンセンター)
- 14日 サテライト連絡会議(和歌山大学)
- 15日 ラヂオきしわだ出演(ラヂオきしわだ)
- 16日 臨時オフィス・調整会議
- 21日 オフィス・調整会議
- 21日 第38回わだいな浪切サロン(浪切ホール)

■2012年1月

- 11日 臨時オフィス・調整会議
- 18日 オフィス・調整会議
- 18日 第39回わだいな浪切サロン（浪切ホール）
- 23日 オンリーワン創成プロジェクト成果報告会（和歌山大学）
- 27日 臨時オフィス・調整会議

■2月

- 2日 大阪府立大学授業公開講座「堺・南大阪地域学Ⅰ」（大阪府立大学中百舌鳥キャンパス）
- 3日 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会第4回企画運営委員会（岸和田市役所）
- 6日 大阪鉄工金属団地協同組合災害防止委員会 緊急避難訓練マニュアル制定検討会（大阪鉄工金属団地）
- 5日～7日 長崎大学環境科学部・産学官戦略本部（長崎市）、北九州市立大学地域共生教育センター・都市政策研究所（北九州市）
- 6日～8日 秋田大学地域創生センター（秋田市）、秋田大学横手分校（横手市）、岩手県立大学地域連携本部（岩手郡滝沢村）、岩手大学地域連携センター（盛岡市）
- 12日 地域連携・生涯学習センター研修員企画講座（地域連携・生涯学習センター）
- 16日 現物教育成果報告会（和歌山大学）
- 17日 臨時オフィス・調整会議
- 18日 地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー（浪切ホール）
- 18日 岸和田サテライト友の会懇談会（浪切ホール）
- 22日 和歌山大学教育研究集会「夢活フォーラム」（和歌山大学）
- 25日 岸和田市立公民館・岸和田市社会福祉協議会連携事業 東日本大震災関連講座「3.11の真実とふるさと復興への思い」（岸和田市立福祉総合センター）
- 25日 柑芦会（経済学部同窓会）大阪支部経済講演会（大阪産業創造館）
- 28日 臨時オフィス・調整会議

■3月

- 3日 岸和田市立公民館・岸和田市社会福祉協議会連携事業 東日本大震災関連講座「いのち、暮らしを守るまちづくりのために」（岸和田市立福祉総合センター）
- 8日 生涯学習フォーラム（和歌山大学地域連携・生涯学習センター）
- 10日 岸和田市立公民館・岸和田市社会福祉協議会連携事業 東日本大震災関連講座「語ろう、わがまち岸和田でわたしたちにできること」（岸和田市立公民館）
- 13日 和歌山大学運営発展課題調査研究報告会（和歌山大学）
- 13日 サテライト連絡会議（和歌山大学）
- 14日 和歌山大学地域創造支援機構シンポジウム「地域創造への連携」（フォルテワジマ）
- 15日 オフィス・調整会議
- 17日 地域貢献機能の充実を図るためのプロジェクト事業「岸和田市における都市居住空間のあり方に関する研究」成果報告会（春木市民センター）
- 21日 第40回わだいな浪切サロン（浪切ホール）
- 22日 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会第5回企画運営委員会（岸和田市役所）
- 29日 認知症の人を支える家族のつどい（岸和田市立福祉総合センター）
- 31日 岸和田市市制施行90周年記念まちづくり講演会（浪切ホール）